

資料 2 経緯説明

要望案の道路を考えついた経緯

平成24年5月11日に、札幌市様の環状通の整備計画の説明会が、行われここに6車線の道路がつくられるということが、どうしても受け入れることができませんでした。道路に立ち、車の流れを見続ける事を、続けました。

現状4車線の道路の、朝のラッシュ時に、あることに気付きました。

片側2車線で、合計4本の車線がありますが、歩道側の車線には、クルマが列を成しているのに、センターライン寄りの車線は、ガラガラに空いているのです。

なぜだろうと考えて、わかりました、交差点が青信号であっても、右折車によって車の流れが止められる、前にすすめないで、クルマは歩道寄りの車線に集まっているのです。

双方向のセンターライン寄りの車線が、空いているのです。

これをひとつにまとめれば、つまり中央帯を設け、交差点で右折車のための右折車線にすればいいと、思いました。そうすれば、センターラインよりの車線空間2本分を1本で、まかなうことができるのでは、ないだろうか。

車線5本分で、直進できる2車線と右折車線が確保できれば、今の札幌市の整備計画の6車線分の交通容量が、ほぼ保たれるのではないだろうか、考えました。

このような経緯で考えついたのが、要望案の道路です。

道路の平面の絵に書いたように、交差点における右折車の影響は大きく、ゆえに右折車線のある4車線(車道5車線分)は、ほぼ6車線と同等の交通容量を保ち、交通安全上も優れた道路になるのではないかと、考えます。

車道が、5車線にできれば、歩道が5m取れます。

5mの歩道ができれば、歩行者と自転車が住み分けて、利用できるようになるのではないのでしょうか。そうすれば、豊平川のサイクリングロードと藻岩山のロープウェイがつながり、市民がさっぽろの自然を身近に楽しく利用できるようになるのではないのでしょうか。

札幌の街が、自然と人間が心地よく触れ合える街になったら、いいと思いませんか。

そのためには、広い歩道が必要では、ないのでしょうか。

要望案での、道路整備を是非ともお考えいただきたくお願い申し上げます。



S44.12.26

変更部断面新旧対照図 No.1

<1.1.2.環状通>

(新) 27m

昭和44年の道路断面図
平成24年5月11日の説明会の時
整備計画と全く同じです。

